

「令和8年度 デジタルマーケットプレイスカタログサイト開発及び運用等業務」調達仕様書（案）等に対する意見について

項	意見/質問	文 書 名	頁番号	章番号	節番号	小節番号	種別	意 見 等	理 由	回 答
1	意見	01_令和8年度調達仕様書素案（デジタルマーケットプレイスカタログサイト開発及び運用等業務）.pdf	10	3	2	6	1	フェーズ単位でリリースを行う場合、「年4回リリース」が基本方針であると理解しておりますが、リリース時期・回数を固定してしまうとアジャイル開発のメリットであるスケジュールの柔軟性が損なわれる懸念があります。 そこで、調達仕様としては例えば「年2回以上のリリース」といった、より柔軟な基準後、開発事業者と貴庁が協議のうえ最適な開発順序、リリース時期を決定できる方針とすることは可能でしょうか。 ※なお、「年4回リリース」や調達仕様書記載の参考スケジュールを原則とされている背景がございましたら、ご教示ください	アジャイル開発では要件の優先度や外部状況の変化に応じてスケジュールを調整しやすいことが利点のひとつであり、その柔軟性を最大限に活かすことができる方針が望ましいと考えるため。	ご指摘のとおり、アジャイル開発では要件の優先度や外部環境の変化に応じてリリース計画を調整できる点が重要であり、過度にリリース時期・回数を固定すると柔軟性が損なわれる懸念があることは認識しています。 調達仕様書に記載した「年4回リリース」や参考スケジュールは、あくまでイメージ共有を目的としたものであり、必ずしも固定的に運用する前提ではありませんでしたが、ご指摘のとおり文面からは硬直的に見える点があるため、見直しを行います。 具体的には、「年〇回」といった固定の回数ではなく、「年2回以上を目安とし、開発事業者と協議のうえ最適な順序・時期を決定する」といった柔軟な記述への変更を検討します。 いただいた意見を踏まえ、アジャイル開発の特性を活かせる調達仕様書となるよう修正を進めます。
2	意見	01_令和8年度調達仕様書素案（デジタルマーケットプレイスカタログサイト開発及び運用等業務）.pdf	-	-	-	-	-	令和7年度においてはユーザーテストを行い、ユーザーからのフィードバック収集やDMPカタログサイト改善に向けた改修案検討を実施いたしました。 令和8年度においても、ユーザービリティ向上の観点からユーザーテストの実施が必要と考えております。そのため、貴庁がユーザーテストを実施するための支援や、ユーザーテスト結果を踏まえたシステム改修案の検討を行うことについて、調達仕様書に明記いただくことは可能でしょうか。	令和8年度の体制構築、対応スケジュール策定、及びお見積り検討にあたり、当案件における対応内容の正確な把握が必要なため。	令和7年度に実施したユーザーテストが有効だった点は認識しており、令和8年度においてもユーザービリティ向上に向けた継続的なテストと改善検討が必要であることは妥当と考えています。 調達仕様書において、ユーザーテストの実施支援や、テスト結果を踏まえた改修案検討を明確に記載すべきというご指摘については、その意義を踏まえ、仕様内容を見直します。
3	質問	01_令和8年度調達仕様書素案（デジタルマーケットプレイスカタログサイト開発及び運用等業務）.pdf	2	3	1	1 1) a)	1	令和8年度において、運用保守に伴う開発および追加開発の双方でアジャイル開発を採用する方針と理解しております。 この場合、両者の開発体制や管理は、それぞれ独立して運営する必要がありますでしょうか。それとも、同じアジャイル開発であることを踏まえ、体制や開発プロセスを統合して運営することも可能でしょうか。	令和8年度の体制および開発プロセスの検討材料とさせていただきたいため。	「体制を分けるか」「統合可能か」については、現時点で固定的な運用形態を前提としているわけではなく、案件特性や負荷状況に応じて柔軟に設計できるようにすることが望ましいと考えています。 そのため、調達仕様書の書きぶりについても、運用保守と追加開発を完全に独立させる運用を強制するものではないという点や作業特性や効率性を踏まえ、体制・開発プロセスを統合して運営する選択肢も取り得るという点が読み取れるよう、見直しを行います。 いただいた意見を踏まえ、令和8年度の体制検討に支障がないよう、硬直的に見える表現がないか、調達仕様書の見直しを進めます。